

令和5年12月8日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称・・・グループホームこころ

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護

文書発送日・・・令和5年12月8日

出席者（発送先）

事業所	2人	利用者	0人
利用者家族	0人	地域代表者	1人
松江市職員	0人	包括支援センター	1人
知見を有する者	0人	その他 (陽恵苑職員)	2人

議題・課題

- 現状報告 別紙参照
- 活動報告 別紙参照
- 地域との関わりに関する事項（別紙参照）
- 医療連携に関する現状(別紙参照)
- 出席者コメント

包括支援センター・・・

ヒヤリハット・事故報告は分かりやすく記載されています。検討結果は職員間での共通の周知として徹底して下さい。全職員で確認をお願いします。職員の状況を聞き取りなどにより把握することで、離職を防いで頂きたい。今後、地域の人へのグループホームへの認識度を高める為の活動を考えて頂きたいと思います。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等を受ける機会を設けたか。	○

地域密着型サービス 運営推進会議 グループホームこころ 現 状 報 告

令和5年度 第4回会議

令和5年11月30日

入居者状況(令和5年11月30日)

Aユニット	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性 2名	4名	3名	0名	1名	1名
女性 7名	平均介護度	2.1	平均年齢	88.6歳	81歳~97歳

Bユニット	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性 4名	4名	1名	2名	2名	0名
女性 5名	平均介護度	2.1	平均年齢	85.3歳	73~95歳

○入退居について

- ・現在、満床で運営しております。

○待機者、相談状況について

- ・待機申込者 3件 (在宅2名)

○活動・行事について

- ・Aユニット ハロウィン仮装ボーリング大会、和菓子を楽しむ会、文化祭参加
 - ・Bユニット ハロウィン仮装ボーリング大会、和菓子を楽しむ会、文化祭参加
- ＊随時、散歩、秋の壁画、習字、パッチワークなど作品作りを行いました。

- ・ハロウィン仮装ボーリング大会では、ペットボトルをピンにみたて、仮装をしてボーリングを楽しみました。「レッツゴー」の掛け声でおおいに盛り上がりました。Aユニット、Bユニットの対抗戦でしたが、Bユニットの勝利となりました。
- ・炊いた白米をつぶして丸め、あんこやきなこをのせてお手製の和菓子を作りました。職員がお米をつぶして、利用者様にあんこやきな粉をのせていただき協力して完成となりました。併せて抹茶を点てて一緒にいただきました。
- ・竹矢公民会文化祭に習字とパッチワーク作品を出展しました。習字は文字だけでなく、朱色の花が咲いた木を描いた作品もあり、皆様それぞれの個性が出ていました。夏から少しずつ取り掛かっていたパッチワークも出展の運びとなりました。クリスマスに向けての新たな作品作りに毎日取り組まれています。また、文化祭では、輪投げ、ビンゴゲームに参加し、楽しめました。

○今後の行事予定

- ・芋煮会/12月
- ・クリスマス会/12月
- ・新年会/1月

○職員活動状況

- ・施設内研修 ケース検討会/10月
ケース検討会/11月
介護事故をなくすためにやっておくべき51のルール/10月
介護職における大切な事/11月

- ・外部研修

○利用者様の状況

- ・昼食時、箸が持てずスプーンで食べられた、右手に力が入っていない、何か様子がいつもと違うとの職員からの訴えがあり、救急外来を受診した方があります。MRI、CTなどの検査の結果、一過性の脳梗塞の状態であり、10日間程度入院して点滴治療をするとの診断でした。わずかな違和感へのきづきが早期発見に繋がり、10日間の治療にて昨日退院されました。ADLの低下もみられ、介護支援計画の見直しを職員間で検討しています。
- ・要介護5の利用者様で喀痰吸引が必要になってきた方があります。入居されてから4年がたち、ADLも大きく変化されました。医療的ケアができる施設へ転居したいというご家族様の希望もあり、ご紹介させて頂いたサ高住へ転居の運びとなります。

○医療連携について

- ・協力医の先生方、定期巡回訪問看護、調剤薬局の方々に隔週来苑して頂き、健康指導、服薬指導により、利用者様も体調面大きな変化なく過ごされています。10月18日に協力医により、ご希望の利用者の方(18名中16名)新型コロナワクチンの接種をしました。11月10日、11月15日それぞれ協力医により、利用者全員、インフルエンザの予防接種も終了しました。皆さん副反応なく、お変わりありませんでした。

○ご家族様とのかかわりについて

- ・毎月のお便りにてご様子をお知らせしています。また、12月3日(日)の芋煮会参加の最終確認を電話にてお願いしています。コロナ、インフルエンザ感染のリスクも考慮し、家族様はお一人ずつの参加とさせていただきますが、楽しい会食になるように職員一同頑張っています。面会は引き続き、事前予約にて、応接室での15分~30分の面会と、居室面会を随時行っています。県外の方には、面会時に抗原検査施行し、陰性確認後面会をお願いしています。電話での普段の様子聴きも毎日自由に行っていただいております。

○ヒヤリハット・事故報告について

【事故報告】10, 11月 計2件

＜膝折れ・尻もち＞

・4:40 居室から歩行器を使用してトイレ誘導をした際、トイレ前の廊下で足が膝から崩れ落ちるような形になった。体を支えようとしたが支えきれず、尻もちをつき転倒となった。車イスで居室へ移動し、ベッド上でパット交換対応。痛み、外傷の確認とバイタルチェックを行った。

→ 夜間帯は覚醒状態が悪いと判断した際は、無理してトイレ介助を行わず、ベッド上でパット交換を行う。

＜剥離・出血＞

・起床の声かけの為訪室し起き上がって頂くと、ラバーシートに少量の血液の付着があった。右手背に出血を伴った剥離を発見する。CMに報告し、患部を確認後、NSに連絡する。NSにて処置される。

→ 原因は不明ではあるが、ベッド柵にタオルか発泡スチロールを巻いて保護する。介助時も十分に気を付ける。

【ヒヤリハット報告】10, 11月 計2件

＜歩行時など介助が必要な方が独歩される＞

・夕食前、リビング自席に座っておられる。他利用者様の対応の為、背を向けていた際に自席からテレビ近くの柱まで独歩されたところを発見。他職員も駆け寄り一人が身体を支え、一人は椅子を用いて座って頂き転倒には至らなかった。洗面台で手を洗おうと独歩されたとの事だった。

→ 出来る限り背を向けない。音もなく立ち上がられるので、徹底した見守りを行う。

＜歩行時など介助が必要な方が独歩される＞

・朝食前にリビングの自席に座りお茶を飲んでおられた。その後、音もなく席を立たれ、机につかまり歩きをする形で畳の間の方向へ一歩か2歩歩かれたところで気がつき、側に駆け寄るが、畳の間の手前まで歩かれた後だった。畳の間にまだ畳んでいない洗濯物を発見し、畳もうと思い、歩いて近づいたとの事だった。

→ 畳の間の見える場所には洗濯物を置かない。以前にも音もなく立ち上がられ独歩されることがあった。「トイレに行きたい」、「手を洗いたい」等の思いを察知して、定期的なトイレ誘導、洗面台での手洗いの声かけを行っていく。